



別区人事委員会の意見照会  
の必要があることから、○  
五年第一回定例会に提案を  
予定していました。区は議  
会の動きを受け、ほぼ同じ  
内容の条例を提案、議会が  
全会一致で可決したもので  
す。

政治革新の道しるべ  
真実つたえ希望はこぼ  
**しん 赤旗**  
日刊 2,900円  
日曜版 800円

# 大規模被災地支援の条例可決

## 党区議団がはたらきかけ 23区初

港区は大規模な災害被災地への復旧支援条例を三月五日の区議会本会議で可決。一八日から交付・施行されました。

被災地の支援等に関する条例を準備し、すべての会派に共同提案を呼びかけ、圧倒的な会派・議員から賛同が寄せられました。しかし、議員の派遣などに関して特

別区人事委員会の意見照会の必要があることから、○五年第一回定例会に提案を予定していました。区は議会の動きを受け、ほぼ同じ内容の条例を提案、議会が全会一致で可決したものです。

# 米軍は約束どおり青山公園を返せ!

## 4・18麻布米軍へり基地撤去集会

四月十八日、麻布米軍へり基地撤去実行委員会が主催する、都立青山公園の一部を十二年間も不法占拠している米軍麻布へり基地の撤去を求める総決起集会が、青山公園で開かれ、九十人が参加し、六本木をパレードしました。

集会では川崎悟実行委員長が「昨年夏に沖縄で米軍へりの墜落事故が起きた際、もし麻布でぶつかったらと想像してしまった。防衛施設庁はアメリカいいなりに不法占拠を認めている。一刻も早く撤去できるようにがんばろう」とあいさつしました。

同日行った都と防衛施設庁、外務省への要請について同実行委員会の松田利夫さん、日本共産党のくぼた光前都議が報告、日本共産党の緒方靖夫参院議員が国会の情勢について報告しました。

# 区民の声は「超高層ビルはもういらない」

## 再開発への巨額な税金投入やめよ

白金一丁目東地区や三田小山町地区など四地区の市街地再開発事業に今年度だけで一二億の巨額の税金が投入されます。また、三井不動産がすすめる、防衛庁跡地計画に関連した地下通路建設へは九億円の補助金を出そうとしています。

再開発などにより長年住み慣れた多くの人々が港区から追い出され、再開発地区内ではまちを二分し、コミュニティも破壊するといった問題を指摘しました。区は、問題は認めましたが、再開発事業は推進の立

場です。まち破壊の再開発、ヒートアイランド現象に拍車をかける、超高層ビルはこれ以上いらないというのが多くの区民の声です。巨額の税金投入はやめるべきです。区は、区内で九地区の「再開発」を押し進めようとしています。その他にも品川駅周辺での大規模開発などを、国や東京都と押し進めようとしています。

参加者は「麻布へり基地を撤去せよ」「約束通り青山公園を返せ」「憲法九条を守れ」と、六本木をパレードしました(左写真、左端がくぼた光前都議)。



## 麻布へり基地の早期返還を

### 外務省に要請

五月十三日、緒方靖夫参院議員、横田基地周辺の市の都議候補や市議、港区からくぼた光前都議と風見区議が参加し、米軍横田基地と麻布米軍へり基地の返還と、米軍機の事故防止などについて、町村外相に要請書を提出、交渉しました。くぼた光前都議、風見区

議は「へりでなく他の交通手段で代替えできることあり、返還を求めるべき」「青山公園は、トンネル工事終了後直ちに返還するとの協定に違反し、十二年間も不法占拠している。外務省として協定を守るようにさせるべき」と要求しました。



日本共産党港区議団は、○四年十一月定例会に議員発案として、大規模災害被

害を受けた自治体への支援として、防災備蓄物資などの供与、物資の輸送、区職員の派遣、見舞金の支給などが内容です。また、区民などのボランティアへの支援としてボランティア保険料の負担や関係団体が支援活動を行う場合の防災資

機材の貸与などを盛り込んでいます。甚大な被災に対して被災自治体からの要請を待たずに支援体制をとれるようになります。二三区でも初めての条例です。

裏面もご覧ください。



# フットサル場

## 来年一月に使用可能

### 芝浦中央公園

港区にフットサル場の設置を求める請願が昨年二月に提出され、区民文教常任委員会が審議してきました。党委員は、区内の設置可能な場所の選定と早期設置を求めてきました。区教委は候補地として、芝浦中央公園、芝浦ルをあげ準備が進んできました。芝浦中央公園には、フェンス設置の設計と工事が行われ、年内に工事完了、来年一月には使用できる予定です。

芝浦ルは、改築に合わせプールを使用しない時期はフタかけをして、フットサルができる設備となりま



す。芝浦ル改築は今年のプール時期以後工事、一八年のプール使用時期前に完成。フタかけのフットサル場は九月中に使用開始となります。

# 七〇歳以上の希望者には

## 「ちいばす」の無料パスを

### 早急に青山・西麻布の運行を

シルバーパスを持つている方には、「ちいばす」の無料乗車券が発行されます。ところが七〇歳以上の方でも、シルバーパスを持っていないければ、無料乗車券を渡さないというひどいことが行われています。

七〇歳以上で希望する人には、無料パスを支給しよう質問しました。

区長は「現時点では、(七〇歳以上全員を)対象者にすることは考えていない」と冷たい答弁でした。

また、青山・西麻布地域など、交通不便地域へのコミュニティバスの運行計画を早急に検討するよう要求しました。



## 消防団：区が可搬ポンプ積載車の配備を

消防団は日頃から、分団を基礎単位に多岐にわたる活動を展開しています。しかし、分団が本部施設として扱っている格納庫の多くは会議をするスペースもなく、電話、ファックス、台所、トイレもないというのが現状です。分団にとつては、責任を持つ地域に団員が集まり、打ち合わせすることができ、いざというときには駆けつけ待機することが出来る、独自の活動拠点はどうしても必要です。

消防団は「都の整備計画を早めることを申し入れること、区立公園の整備など区としてもあらゆる機会を通じて、分団本部施設の設置、改善に取り組むべき」と求めました。防災課長は、「施設の充実の必要性を感じている。東京都に要望する。区としても区立公園の整備などの機会をとらえ施設充実に努める」と答弁し

ました。また分団への可搬ポンプ積載車の配備についても「区として分団への配備を検討すべき」との質問に、防災課長は「早期に整備されるよう東京都に要望していく。必要に応じて区が購入し消防庁に寄付するような協力が可能かどうか、検討していく」と答弁しました。

# 住民基本台帳の閲覧

## 不正利用対策を

住民基本台帳の閲覧をめぐって、マスコミでも「あなたの知らぬ間に、閲覧野放し。住民台帳」と指摘されているように、ある調査では台帳閲覧請求の九割以上が民間企業の請求でした。振り込め詐欺や架空請求など個人情報不正利用した犯罪が横行し社会問題にもなっています。

悪徳業者や不審請求から、不正利用対策を個人情報を守る制度が必要だと質問しました。区は、閲覧により入手した住民情報をもとに不当な目的に利用する被害実態からも、「個人情報の保護が求められており、全国連合戸籍事務協議会において、国に対し閲覧制度の抜本的見直しをはかるための法改正を求めている」と答えました。

## ビデオなども活用し、戦争・戦災体験集を

風見区議の提案で「平和都市宣言」五周年記念事業の一環として「戦争・戦災体験記」が発行されました。十分な体制を検討すべき、理事者は「広く区民や団

今年、被爆六十周年、と提案しました。

平和都市宣言二十周年です。風見区議は予算委員会です。また、区内の被爆者団体「戦争・戦災体験記」を作請して、被爆体験や被爆二

体等に協力を求める」「高齢者には、音声や映像による記録手法も検討」すると答えました。



### 日本共産党躍進のつどい

6月4日(土)午後2時～  
代々木公園  
志位和夫委員長がお話します  
くぼた光前都議もお話します